

栃木県野木町の総合事業について(デマンド交通実証運行)

計画事業

現況及び課題

- 鉄道は、町の中心を南北に走るJR宇都宮線野木駅があり、都心へ通勤通学する町民が利用しており、公共交通の中核となっている。
- 町内を走るバス等の公共交通はなく、自家用車や地元民間タクシーの利用を余儀なくされている。
- 多くの高齢者の方々も公共施設の利用、病院の通院、商店への買い物等に不便をきたしており、町内全域をカバーする移動手段の確保は充分とはいえない状況である。

活性化の目標・方向性

- 交通弱者対策及び交通空白地域の解消対策として、移動ニーズを満足させる新しい公共交通システム(デマンド交通)を導入し、町民の利便性の向上、公共施設などへの効率的なアクセス、移動手段が確保できない人のための足の確保を図り、多くの町民が利用するよう町民への喚起を進めていく。

実証する事業の内容

- 野木町公共交通システム試行運行事業(平成21年11月～平成23年度)
 - ◆運行区域:野木町内全域及び茨城県古河市「友愛記念病院」、栃木県小山市「光南病院」
 - ◆運行時間:8:00～17:00(1日8便程度)
 - ◆台数:セダンタイプ2台で試行
- 利用促進方策
 - ◆町広報誌、HPによる情報提供
 - ◆高齢者への周知(説明)
 - ◆町内各施設での周知

栃木県野木町 : 総合事業の実施区域

